

財務相が道路騒音の削減を理由にポットホールの補修に連邦資金の使用を認め、困窮する地方自治体を救済

掲載日	2010年4月17日
国名	ドイツ
分類	舗装
出典	Spiegel
タイトル	Bundemittel für Lärmschutz Schäuble hilft Kommunen aus der Schlaglochmisere

シュイブレ連邦財務相は、地方自治体が道路のポットホール補修費用として、連邦政府の第二次景気刺激プログラムの資金も利用できるようにした。本来、地方道路は憲法上の理由から連邦の資金を利用できないが、シュイブレ財務相は奥の手として連邦各州に「裏口」から入るよう勧めたことになる。「裏口」の論理はこうだ。霜害で傷んだ道路を走行すると、滑らかな道路よりも大きな音がするのは明らかだ。道路の補修工事によって騒音が低く抑えられるならば、その措置は適切といえる。すなわち防音工事は連邦政府の責任である。道路改良は「知覚可能な道路の騒音の低下につながる」と財務省の文書に書かれている。

厳冬による道路の損傷があまりに多いため、本来アウトバーンと連邦道路の拡充工事に使われる「第二次景気刺激プログラム」の資金を、特例として地方道路の補修工事に充てるという措置である。